

大田区立馬込小学校 第2回 学校運営協議会（拡大協議会） 記録

令和7年8月21日（木） 12:30～

大田区立馬込小学校 家庭科室

参加者	佐藤 達雄	会長	スクールサポート会長
	込戸 安雄	副会長	PTA 顧問会会長
	大串 晴代	委員	スクールサポートコーディネーター
	伊藤 圭子	委員	同上
	加藤 節子	委員	同上
	高橋 幸子	委員	馬込東三丁目町会
	青木 秀康	委員	馬込宮ノ下町会
	樫 三枝子	委員	同窓会長
	保坂悠梨子	委員	青少対馬込地区委員会
	山内 雅仁	委員	馬込小学校 PTA 会長
	栗原 優		馬込特別出張所副所長（所長代行）
	山本 秀一	委員	馬込小学校長
馬込小学校教員 25名及び校長、副校長			
東山 良彦 教育総務課教育地域力推進コーディネーター			
（議事進行） 大串 晴代			
欠席者	三好 雅文	委員	東馬込町会

次第及び議事、協議の概要

1 会長挨拶

2 校長より（拡大協議会開催のねらい）

「学校は地域のもの」が、私の基本的な考え方である。

本校では教員が工夫して地域に根差した様々な教育活動を計画し行っている。地域を大切に考えているし、地域と共にこどもたちを育てたいという思いがある。しかし教職員は常に入れ替わっていく。そこが地域の方々と違う。本校ではくすの木祭りやともがき祭り、また夏わくなどに多くの地域の方々に参画していただいている。馬込八幡神社の祭礼の際、私は各町会でいろいろなお話を伺いながら、「本校は地域に愛され支えられている」ということを実感

した。特に馬込という地域への愛、学校愛はとても濃いものと感じる。そのような地域だからこそ、学校運営協議会を立ち上げて馬込小をコミュニティスクールにすることは、私にとっても念願であり自分のミッションであると考えていた。ただし、この学校運営協議会の会議には、通常先生たちは参加しない。学校側で委員になっているのは校長のみ。馬込小の教育を考えていく上では、互いに顔が見える、声が聞き合えるような学運協でありたいと考えてきた。今回は夏季休業日、教員も全員がそろそろ全校登校日の午後、という貴重な日を活用して、開催となった。気軽にお話ができるよう、地域学校協働本部（スクールサポート）のご尽力によりランチミーティングという形式にした。協議の進行は各グループの先生方に委ねる。学校から地域にお伝えしたいこと、地域の方からの学校への願いなどを協議できるとよい。短時間ではあるが、新しく大きな一歩になると期待している。もっとも大切なのはつながりづくりであり、これを機会に委員の皆様にもこれまで以上に気軽に学校にお運びいただけるとありがたい。

○ 出席している学校運営協議会委員の紹介

3 グループ協議・熟議

- A グループ（佐藤会長、樫委員、1年担任）
- B グループ（込戸副会長、高橋委員、2年担任）
- C グループ（青木委員、保坂委員、3年担任）
- D グループ（大串委員、4年担任）
- E グループ（伊藤委員、山内委員、5年担任、校長）
- F グループ（栗原副所長、6年担任、東山コーディネーター）
- G グループ（加藤委員、専科、副校長）

○ 協議でおもに話題になったこと

1 かつての馬込小学校に関することなど

長遠寺に大正時代の馬込付近の写真がある。

馬込小学校では、かつて校庭で映画を上映し、鑑賞をしていたことがある。

2 スクールサポートの取組

1・2年は昔遊びや給食を一緒に食べるなどの活動、3年はカイコの繭から系繰、シクラメン栽培、地域学習の協力、5年は馬込半白胡瓜や馬込三寸人参の栽培、5・6年は家庭科実習の補助業務… 地域の方の協力が必要な時はお声かけを。

3 学校やこどもたちの様子を見て

日本の教育システムがすごい。

こどもたちは賢い。様子をよく見ている。自由であり、尊重したい。

あいさつの様子を見ても、いろいろな子がいるのがよくわかる。中には朝からどんよりした子もいる。

4 地域の願い

盆踊りをこどもたちが踊れるようになってほしい。また、たくさんの子がさんかしてくれるようにするためのアイデアを聞きたい。来年の馬込わくわく体験に盆踊り教室をひとつ入れたい。

5 「おおたの未来づくり」について

現在は、6年が地域の創生の領域、5年がものづくりの領域で計画し、推進している。

よい単元をイメージしたり、それにふさわしい授業パートナーを見つけたりするのはとても大変。また、計画が難しい分、ある程度持続可能な取組を考えることも大切。（1年限りで終わってしまわないように）

6 学校からの活動要望

3年生が総合的な学習の時間で、ごみについて取り組んでおり、自分たちの行いたい地域清掃活動について、地域の方に向けたプレゼンテーションを行いたい。また、地域の方の協力も得ながら、「馬込クリーン大作戦」として、実際に清掃活動や美化に向けた啓発活動などを行いたい。こどもたちには、「自分たちが馬込の地域を動かしている」と感じてほしい。地域の力が不可欠。

1～3年生は体験活動や校外におけるフィールドワークなどで、地域の方にも来ていただけたらうれしいと思う。



グループ協議・熟議を終えて…

どのグループも和やかな雰囲気の中で、率直な意見交換をすることができていた。学校の教員と学校運営協議会の委員である地域の方々の単なるつながりづくりだけでなく、具体的教育活動展開に向けた相談や話合いも進められた。

教員からも委員の方からも、このように直接お話をする機会はなかったので、とてもおもしろかったし充実した会だったといった高評価の声が聞かれた。

4 その他、事務連絡等

○ 今後の学校運営協議会について

第3回 令和7年11月27日（木）

第4回 令和8年 1月23日（金）